

さがみはら ぼらんていあ情報誌 季刊

わくわく



座談会 主任児童委員がはたす役割
インタビュー
歩く

2020秋号

認定 特定非営利活動法人 相模原ボランティア協会

やすむ塔

日向 尋

城山湖は空 湖底は剥き出し
径24 m 高さ10 mの取水塔が 屹立
10年の垢を 曝し

秋の日差しを浴びながら

さらに隅々まで 紫外線を導く

25万kwの力を発揮する 地底の装置に

パワーの源泉なる水を 導き送る

その門戸が ここにあることを

驚きをもって 知る

夜に汲み上げ湛えた水が

落差153 mのマシンに向けて

怒涛の勢いで 駆ける下る

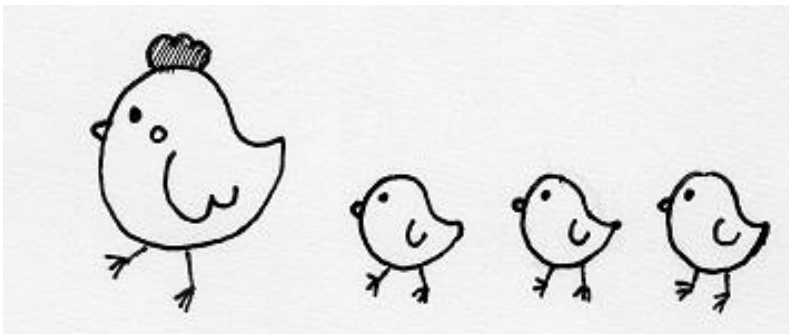
生まれた力が 広がり走る

塔は今 休息の時

静かに静かに



巻頭詩		1
もくじ		2
座談会 主任児童委員がはたす役割		3~9
ふくしワンポイント情報ー福祉教育の広がりー		10~11
4コマ漫画「わくわくさん」		10~11
ぼらんていあ活動グループ訪問		12~13
ボランティアグループ「にぎわい処」		12~13
障がい者の詩		14~15
人物シリーズ 49 磯部 伸之さん		16~17
詩		18~19



手話シリーズ 43		20~21
パズルにチャレンジ		22~23
私が選んだハイキングコース ～橋本駅から田端環状碓石遺構へ～		24~25
相模原の史跡ー惣吉稲荷神社		26
協会のPRページ		27
編集後記・奥付		28

主任児童委員がはたす役割

令和2年8月4日

あじさい会館ボランティア活動室にて

相模台地区主任児童委員

寺久保加津美さん

星が丘地区主任児童委員

豊田里美さん

橋本地区主任児童委員

馬場まゆみさん

司会／特定非営利活動法人

相模原ボランティア協会

西本 敬

◆なぜ主任児童委員に？

司会／おはようございます。今日は相模原市内で主任児童委員をやっておられる皆様です。では、早速自己紹介をお願いします。

寺久保／相模台地区の寺久保です。娘が小学校に通っていました時にPTA会長をしており、当時、主任児童委員をやられていた方がおやめになり、私

のところに話がきて、それからやるようになった。もう早いもので25年になります。

司会／25年も長いですね！ 定年とかあるのですか？

寺久保／65歳が定年ということになっていますが、最近では65歳以上の方も何人かやられています。

馬場／橋本地区の馬場です。私も小、中学校のPTAとこども会、子どもが高校に入りましてからは部活の保護者会などをやっていたご縁で、連合自治会長からの声かけがあり、主任児童委員になりました。16年目になります。

司会／では、豊田さんお願いします。

豊田／星が丘地区の豊田です。私はこどもが4人おります。小・中学校でPTAの活動をさせていただき、こどもが高校に入学してからは部活の保護者会の役員、地域では、こども会の会長や自治会の総務などをやらせていただきました。そのおかげで、親とこどもの顔が、学校でも地域でも一致して、名前もおぼえてもらい、仕事しながらでも、皆様に見守られながら安心して子育てが出来ました。ほかの方と同様

に地区連合の会長さんから推薦いただき、主任児童委員になりました。私がこの中では一番短い10年目です。



豊田里美さん

司会／え！ 10年でも短いんですか。
豊田／最近長く続けてくださる方が少なくなっているのは事実ですが、たまに今日のメンバーでは一番短いようです。

◆主任児童委員とは

司会／皆さん女性の方々ですが、主任児童委員は女性になるものですか？

馬場／民生委員は定年が75歳ですが、主任児童委員は定年が65歳です。その年齢ですと、男性の場合ですと、まだ現役でお仕事をされている方が多いの

で、なかなか手がないようです。現在、お1人だけ男性の方がおられます。

司会／なるほど！ 定年が早いからですね。でも、なぜ定年が早いのでしょうか？

馬場／なぜなのか聞いたことはありませんが、私たちに関わるのは、お子さんとか子育て家庭です。どうしても若いお母さんになりますので、あまりに世代が離れてしまうと、新しい世代の方々に対応するのが難しいのかなと思います。私も長年やっていますが、年々変化していく子育て環境についていくのが大変だと思っています。年をとると古い考え方に固執してしまうところがありますのでね。

司会／なるほど、馬場さんのお考えとしては、少しでも若くて、現役のママさんたちに寄りそえるのがよいのではないかということですね。

馬場／そうですね、65歳くらいまでなら、おじいちゃんおばあちゃん感覚で身近に子育て家庭を見られるような気がします。

司会／主任児童委員の任期は1期3年

ということですが、主にどのような活動をされるのですか？

寺久保／0歳から18歳までを対象に活動しています。児童相談所や子育て支援センターからの依頼を受けて、地域のこういうお子さんが気になるというケースを見守り、情報を収集して、関係機関に情報提供するということをしています。さらに、お子さんや家庭に対して、こんなことをして欲しいと依頼があれば、その地域担当の民生委員・児童委員さんとともに対応していくこともあります。また、見守り活動の中で気になることがあったら、関係機関に状況把握をされているか確認したり、対応している活動の中で「こんなことがあり、どうしたらよいのでしょうか」と相談することもあります。

司会／各地区の自治会連合会のさらに細かい地区ごとに民生委員さんがおられて、加えて主任児童委員さんがおられますが、主任児童委員さんは何人くらいおられるんですか？

馬場／民生委員は単位自治会に2〜3人くらいですから、橋本地区だと80人くらいいますし、全市では900人弱

の委員がいます。主任児童委員は各地区連に2人から多いところでは4人います。

司会／なるほど、そういうことですと地区全体の中での個別の課題に主任児童委員が直接気づくというよりは、民生委員さんからの話で心配なことが伝わってくるのでしょうか。

馬場／民生委員さんからもですが、児童相談所や各区の子育て支援センターから連絡がきます。そういう場合、地域の民生委員さんに見守りをお願いして、その情報をいただき私たちが関係機関につないでいくということになります。私たちは、つなぎ役にもなります。

司会／そうなりますと、主任児童委員さんの所にはたくさんさんの情報が入って、見守りをされるということになるので、しょうが、だいたいどのくらいの件数になりますか？

豊田／いろんなケースがありますが、確認で終わるケースもあり、そのまま見守りになるケースもあります。10年の活動で今自分が見守っているのは30人くらいでしょうか。18歳までと

なっていますが、小学校低学年から見守っていた子が18歳を超えていきませんが、見守りは実際には続いていて、その子たちには「地域のおばさん」、血のつながらない親戚みたいな存在になっていると思います。

司会／年齢が18歳超しますと、行政とはどうなっていくのでしょうか。

馬場／相談の内容として例えば、就労できない若者の場合、若者支援センターなどにつなげたりします。また、人と関わるのが苦手な若者が人と話したい、関わりたいという時には、私たちおばさんの存在がいづでも連絡があれば話を聞いてあげる。そういう繋がり方もあるのかなと思います。

◆感じたことは

司会／ところで、自分としてやって良かったとか、やりがいを感じたことなどのお話ありますか？

豊田／小学校時代から見守りしていたお子さんがいましたが、その子は今は親元を離れて他の場所で働いています。運送会社に勤務しています。先日家の近くに来た時に寄ってくれて携帯番号

を教えてくれました。近況を報告してくれて、息子にも携帯番号を教えてほしいと言われました。自分は頑張っているからと。これが一番うれしかったです。ありがとうございます。ただに繋がっていて車を買ったんだよとか言ってきます。そういった一般的な生活がその子は小さい時は出来なかったんです。

私たちがかわった子どもたちはおうちに問題があつて、その子はもしかしてこの家に生まれてなければ違った人生があつたのかなと思うことがあります。私は力があるわけではないので本当に見守ってあげることしかできませんが、その子の心の片隅にあのおばさん元気かな？って思われたりしたらうれしいです。

司会／いいお話ですね。馬場さんいかがですか？

馬場／私は今年の3月まで小中学校の介助員をしていました。小学校、中学校と18年間、支援学級での仕事は、様々な支援を必要としている子どもが来ていました。私は、この仕事をして支援を必要な子どもを持つ保護者のこ

とがほんの少しわかりました。

また、学校という職場を離れたところで何か保護者の支援ができないかと思いました。小学校と中学校では、支



馬場まゆみさん

援の必要性も変わってきます。中学校は、先の進路に高校進学ということがあるので、ある程度落ち着いて授業を受けることができるお子さんが多かったです。

中学では、人との関わりを持つことの苦手な子どもが多かったように思います。そんな、子どもたちとできることは、せっかく繋がった縁なのでどんな形でもつながりが続けていくことだと思いました。卒業生で、人混みが苦手な子が高校へ通うためには電車に乗

らなければならぬというので、いろんな不安を持つ子どもと電車に乗って、東京や横浜へ行って人ごみを体験したりしました。今も続けています。

主任児童委員というのではなく支援学級で仕事をしていて思ったことです。がここ数年、発達障がいと言われるお子さんが増えています。また、グレーゾーンのお子さんたちも増えてきているように思います。将来的には皆、社会に出ていかなければならないのです。支援を必要としている家庭を少しでもバックアップ出来ればというところで、自分の都合のつく時間と相手のその時の気分ではありますが「お出かけ」ということをやっています。私が、介助員として初めてかかわった子どもたちとは、年に2回保護者と共にいろんな所に行っています。

小学校の支援学級の子どもの中には、児童クラブに通っている子どももいます。児童クラブに子どもたちを連れて行くのに、橋本地区の男性ボランティアの会さんをお願いすることもあり、その繋ぎ役もしています。男ボラさんは、子どもたちにとっておじいちゃん

感覚で子どもたちも楽しく来てくれたので非常に有難かったです。

司会／寺久保さんいかがですか？

寺久保／私は長くやっている割には、困難な事例が少ないのですが、刑事事件を起こしてしまったお母さんが、自宅に戻って来たので、お子さんとお母さんの日常生活が、問題なく営まれているかを見守って欲しいと、児童相談所から依頼がありました。児童相談所の方と主任児童委員と地域担当の民生委員・児童委員とお母さんの顔合わせをしてから、1週間に2、3回、私と児童委員さんと分担して、その家庭を訪問することになりました。いつも玄関先で声をかけました。お子さんが出てきてくれた時は「今日は元気」と聞くと、「うん元気」と明るく答えてくれていました。お母さんは、居ても出て来ない時があったので、そんな時は近くにある公園に行つて、お子さんが遊んでいる様子を確認したりもしました。

子どもたちは意外と明るくて、小学校にもちゃんと通っていました。お母さんは事件を起こしてしまつたので、最初は暗かつたんですけれども、訪問



寺久保加津美さん

しているうちにだんだん打ち解けてくれて、今日はこんなことがあったとか色々話してくれるようになりました。お母さんは色々なトラブルがあつたので、転居したいと思つていることも話してくれました。なかなか思うようには進みませんでしたが、しばらくして、やつと転居先が決まりました。

訪問していくうちに、お母さんの表情がだんだん落ち着いて、お子さんとの生活も問題なくできている様子だったので、本当に良かったと思いました。

この事例も含める中で、私が感じていることは、そのご家庭にとって嫌じやない、苦痛じやない感じで、私たち主任児童委員の存在があるべきだと思つてます。誰でも、知らない人が急に

きたり、見られていたら嫌ですよ。何か、監視されている感じで。私たちの活動は、自然に接することができるようになることが大事だと思います。

◆これからの課題とは

司会／いろいろな感動的なお話をいただいているほどと思いました。ところで、これからこういう点が難しくなりそうだから、地域の中での接点やいろんな人たちとの関係作りとか含めて、課題だと思っているようなことがあったら、お話しただきたいんですけれど。

豊田さんいかがですか？

豊田／私たちは行政とのつなぎ役という立場なんです。そのことを10年かかってやっとわかって…。私たちができることって本当に身近なことだと最近思うようになりました。その地域の中で自分ができることは何かなと、一人では何もできませんが、民生委員さん、関係機関との情報交換というところに落ち着いたところです。今は本当に身近な子たち、コロナで5年生の後半に学校に行けなくなり、今6年生の勉強をされていて、その子が本当に勉強

で困っていて、子どもの居場所づくりということでも大学生と一緒にZOOMを使った形でお子さんとオンラインで勉強をやらせていただいています。もつと困っているうちでは環境がなくてそれもできない。じゃあ環境のない子たちに、何ができるのかというのが今一番の課題です。いろいろな子どもたちの困りごとにも直面しますが、難しい専門的なことは情報交換させて頂き、専門機関にそこはお任せしています。

今の自分には何ができるかなります。自分の身の回りでも、何もかも抱えることは私にはできません。でも何かできないかということ、子どもの居場所づくりの活動をはじめました。子どもだけではなく、気兼ねなくお母さんたちと話ができればいいなと。スタートして、ここで三年目です。主任児童委員としての活動ではありませんが、主任児童委員がやっていると

いう安心感はあるかと思っています。主任児童委員の存在を知っていたらくきっかけにもなれると思います。ちよつと相談することができるとおばさんが近くにいますよと、そんな活動が世間

の皆さんにうまく伝わるようにしたいです。学校の先生でも主任児童委員？という先生も多いので、主任児童委員の存在を知っていただけると、私たちも頑張れるのかなと思っています。

すごく素敵なおうちに住んでいて、幸せそうに見えているのにその子はすごく困っている事もあります。そういう子たちも立ち寄り、どんなお母さんも立ち寄れるような場所がどんどん増えてくれたらいいなと思っています。それが私にとって課題です。

司会／大変素敵なお話です。一人でできることは限られているから、いろんな社会資源、地域資源など、そういう人たちと手を携えていくようなことがきつと必要なんですよね。

豊田／学校・関係行政・主任児童委員、それぞれの立場の中で情報交換させて頂いています。すべてが人間関係の中での活動です。マニュアル通りにはなかなかいきません。私たちはその中で一番身近なところの見守りをしています。

馬場／主任児童委員の仕事の内容についてですが、主任児童委員は市の「ふ

れあい親子サロン」に参加しています。それ以外にも各地域で「子育てサロン」を行ったりしています。そういうところで出会った気になるお子さんについて行政の方に連絡しています。お母さんたちが何回か子育てサロンに来ているうちに自然に話せるような関係を作っています。

私も豊田さんと同じ様に4年くらい前から1年生から3年生までを対象に学習支援をしています。児童館を借りてやっていますが、主任児童委員が、やらなくてはいけない活動ではありません。主任児童委員という名前が付いているか付いていないかとではちょっと違う面もありますので、主任児童委員の名前を付けて活動しています。始めたころは世の中では「子ども食堂」だとか「学習支援」とかが本場に始まるのころだったんで、こういうものなのかが周囲の皆さんにもわからなくて、やっていくうちにわかっていただけるようになって、学習支援も頑張ってるねと言われるようになりました。

これは主任児童委員としての活動ではないので、地域のボランティア活

動として根付くことができればいいなと思います。あるベテランの主任児童委員さんが、定年でおやめになるときに言われたのが「主任児童委員ってなんだかんと言っても、できないこともたくさんあるよね。でも本当の近所のおばさんはできるんだよ。だから私は本当の近所のおばさんになりたいんだ」って言われて、今はいろんなところで、本当に近所のおばさんをされています。私もできれば将来的にはそういうふうになりたいです。主任児童委員だからではなくて「地域の中で相談できる人」になればいいなと思うんです。

私の地区（橋本）はご存じのように新興の地域で、縦長のマンションがすごく増えてきていて、人との関係がすごく希薄になっています。縦長のマンションって凄く良く見えるんですけどワンフロアーに4世帯〜6世帯ぐらいしかなくて上下ってほとんど関係ないんです。私たちが何かあつてマンションを訪問してもオートロックのところではシャットアウトですよ。地域格差が相模原も大きくて、見守りにマンションなんかだと洗濯物を外に干してな

いですから全然わからないですし、お子さんの声もしないです。子育てサロンもお母さんたちはネットで調べて、そこへきて、かわりを持って、スマホで連携とって「いついつはここへ行くねって」。来ている地域は上溝だったり、相模線で来られる方とか、バスで来られる方とか、橋本の人ばかりではなく広範囲です。地域にこだわらない本当に話の聞けるおばさん状態ではあるし、それで逆がいいのかなと思います。それでお母さんたちがその場ですっきりした気分になればということをやっています。

寺久保／お二人のお話を「立派だな、私にはできないな」と思いながら聞いていました。最初の頃は、自分に何ができるかと考えて、まず保育園や幼稚園が園庭開放をどんな風にやっているんだろうかと、同じ地域の主任児童委員と近隣の保育園や幼稚園を回って調べて、表にしたものを出張所に置かせてもらったりしました。主任児童委員は何をやればいいんだろうか、手探り状態でした。その後、研修を受けたり、色々やる中で、多方面にわたる活動内

容になってきていると思います。

子育てサロンもその一つで、相模台地区には一つしかなく15年目になります。場所は団地の集会所を借りて、スタッフ11名で月1回やっています。

最近は、働くお母さんが多くなり、以前は2, 3, 4, 5歳児が来てくれていましたが、今は0歳児がほとんどで、1年過ぎると、その後は保育園に入る子が多く、参加メンバーが1年で変わってしまうことが多いです。

今年度は、新型コロナウイルス感染防止のため、現在サロンは中止しています。8月18日に「新型コロナウイルス対策について」社協が研修をしてくれるのですが、これからコロナ禍の中で私たちが防衛できるもの、やらなければいけないことってたくさんあると思うんですね。外に出られるお母さんとお母さんが出られないお母さんがきつと思うので、少しでも心のストレスがなくなるようなサロンにするには、どうしたらいいのかというのが、私の中では課題です。

また、先ほど馬場さんがおっしゃったように、サロンは、お母さん同士の

コミュニケーションが取れるっていうことが第一目的です。私たちのサロンには、グループで来るお母さんより単独で来てくれるお母さんがほとんどです。サロンに来て知り合いになり、ライン交換したり、そこからお友達になって、幼稚園や小学校に行ってもつながりを持っているなど、いろいろですが、そういう話を聞くとサロンがきっかけとなって良かった。子育て中のお母さんの少しでも役に立つことができるといいなと思います。

司会／お三方それぞれすごいなと思いました、それぞれやってらっしゃることとに違いはあるけれども、情熱があるというのがまずすごいと思いました。自分にできることっていったい何だろうということを追及されて、少しずつ自分自身も変わっていく、世の中に働きかけながら何かが変わっていくというような感じを強く持ちました。

最後にこの一言だけというのがあればお話しただければと思いますが、如何ですか？

寺久保／私が思ったのは、無理をしてやっても続けてやっていくことは難し

いので、自分が気づいたことを自分のできる範囲の中でやることであればいいなと思っています。

司会／民生委員という役割の枠にはまきれない部分が実はたくさんあって、むしろそっちの方が大きいくらいにあって、それらの全部を自分だけでできるわけではないので、地域の中で工夫されて、一生懸命にやっておられることがよくわかりました。今日はありがとうございました。

(おわり)



ふくしワンポイント情報

今回も複数回に分けて、「ぼらんていあ通信」に掲載されていた「社協事業紹介」記事を転載させていただきます。よろしくお願いします。

福祉教育の広がり

ボランティア協会の皆さま、こんにちは！

相模原市では多くのボランティアの方々、自治会、地区社協、民生委員・児童委員の皆さまがそれぞれの地区で福祉活動に取り組んでいます。市と市社協も、多くの方々のご協力を得て、「みんなで支え合い 地域のが育む 人にやさしいまち さがみはら」を共通のスローガンとして、地域福祉の推進に取り組んでいます。

今号では多くのボランティアや福祉施設、団体等の協力のもとに進められている『福祉教育』事業について触れたいと思います。

市社協の福祉教育の取り組みは、昭和五十九年に始まりました。「わかりやすい」と言われる福祉を「わかりやすい」に変えて、「多くの市民に関心を持ってもらい、参加しても

らえるよう」福祉啓発教育として取り組みを始めたものです。

まず第一弾として『福祉啓発教育研究会議』が開かれ、学校・地域での取り組みとして『福祉活動ヒント集』がまとめられました。第2弾は「福祉啓発教育モデル地区」として大野北、上溝地区が指定され、地区広報紙の発行や福祉講演会、講座、映画会などが始まりました。こうした活動から世代間交流や障がいのある方との交流会などが始まり、「共に生きる」ことの理解を進める機運が生じています。こうした動きを支援するための資料として、秋竜山（あきりゆうざん）先生の福祉マンガ「みんないいひと」や、障がいのある方の生活環境を考える福祉ビデオ「もう一つの街かど」の作成が第三弾としての取り組みとなっています。また、そして第四弾として、夏休み中の六日間にわたる福祉体験講座「ヤングボランティアスクール」（市内在住在学高校生対象）が実施されています。

地区社協を中心とする福祉啓発の取り組みはこの時期に基盤が形づくられ、現在まで様々な形で継承されています。地区ごとに開催される「福祉まつり」などは、参加体験型のプログラムが用意され、毎年多世代の多く

の方々が福祉に触れる機会となっています。

市社協の現在の福祉教育の取り組みは小中学生、高校生等の学生を対象としたものと、ボランティアセミナーなど一般市民の参加を目的としたものとに分かれています。

小中学生に向けては「みんないいひと体験講座」を開催していますが、これは小中学校の授業の一環として開催されることが多く、毎年八〇校前後の学校から依頼を受けています。障がいのある方を講師として迎え、様々な体験等をお話していただきながら「共に生きる」ことの理解を進めていくことをプログラムを中心に据え、支えるボランティアグループの方々の指導で、実際の接し方などを体験するものです。昨年は延べ九〇〇〇名を超える児童、生徒が受講しています。

また、中高生に向けては「ボランティアチャレンジスクール」を開催しています。夏休み中に福祉活動をはじめとした様々な市民活動を経験し、将来の社会参加に生かしてもらうことを目的としています。相模ボラディア（市民活動サポートセンター・国際交流ラウンジ・市社協ボランティアセンターの連絡組織）と青少年学習センターの共催事業のた

わくわくさん

作 髯野 克己
絵 鹿野 徹子

どこが不自由？



め、地域活動や環境、国際交流コースなども選択出来る大きな特徴です。今年も五十一団体の協力により、六十八名の中高生が様々な市民活動を体験しました。

また、こうした場面で講師として活動される障がいのある方々に向けての「講師研修会」や、学校で人権福祉教育を担当する教職員を対象とした会議でのプログラム説明などにも取り組んでいます。

一般向けには「ボランティアセミナー」を開催しています。初心者向けとして、活動の基礎と活動例、車いす操作の基礎の体験など

を通して、「いるかバンク」への登録をお勧めしています。三区ボラセンがそれぞれ開催しており、昨年は二十三回、延べ二百四十二名が参加しました。また、地区社協やボランティアグループからの依頼には個別対応しており、オーダーに応じて、職員の得意分野を生かしたプログラムや情報提供を行っています。皆様の地区、団体等でもご要望をお寄せいただければ、できる限り対応いたしますので是非一度ご相談ください。

福祉を広めていきたいと思っています。皆様の協力をよろしくお願いします。

市社協 田所

この記事の内容は、平成三十年十一月発行のぼらんていあ通信から転載したものです。

僕の応援歌

増田寿昭

フレ－フレ－ お友だち
がんばれ がんばれ お友だち
国語 算数 理科 社会
今日も 勉強 がんばって
僕の 大事な お友だち
今日も がんばれ お友だち
僕は 応援しているよ
あなたに 贈る 応援歌
フレ－フレ－ お友だち
がんばれ がんばれ お友だち
がんばれ がんばれ お友だち
フレ－フレ－ お父さん
がんばれ がんばれ お父さん
作業服 着て 出かけます
今日も お仕事 がんばって
僕の 大事な お父さん
今日も がんばれ お父さん
僕は 応援しているよ
あなたに 贈る 応援歌

フレ－フレ－ お父さん
がんばれ がんばれ お父さん
フレ－フレ－ お母さん
がんばれ がんばれ お母さん
炊事 洗濯 お買い物
今日も 一日 がんばって
僕の 大事な お母さん
今日も がんばれ お母さん
僕は 応援しているよ
あなたに 贈る 応援歌
フレ－フレ－ お母さん
がんばれ がんばれ お母さん





祈りの言葉を贈る

増田寿昭

きよしこの夜 祈るのは

父母の長寿と健康を

きよしこの夜 祈るのは

戦争のない 平和の世界

きよしこの夜 祈るのは

災害のない 平和な世界

きよしこの夜 祈るのは

この世の無事と 安穩を

きよしこの夜 お空には

光輝く お月さまと お星さま

このコーナーでは
障がい者の皆さ
んの作品を紹介
しています。

ボランティア活動グループ訪問記 美味しいランチで高齢者にエールを届ける 「ボランティアグループにぎわい処」

秋晴れの心地よい風を感じながら二人で自転車を走らせて20分、光が丘2丁目にある光が丘ふれあいセンターの集会所に到着。ここで活動しているボランティアグループ「にぎわい処」の火曜日のグループの取材で



写真② 今日の献立

す。社協・地域福祉係の倉持さんにご紹介頂いた渡邊玲子さんにお話を伺いました。

「にぎわい処」の活動(写真①)は7年になり、陽光台から光が丘ふれあいセンターに移って来て1年半、22名のボランティアさんが毎週火曜日と木曜日の二つのグループに分かれて活動しています。

一食300円のランチをセンターの台所で作り、会議室が食堂となります。一人暮らしの高齢者の方や来られる方皆さんに家庭料理を提供しています。時にはお弁当も出すそうですが基本は写真②にあるような家庭料理スタイルのランチです。

お話を伺うのに忙しいランチタイムを避けて一時ごろ伺いました。「今日はお弁当の注文が12食分で渡し済み、来られたお客様は18名で、すでに帰られた後ですから私たちと一緒にランチを召し上がりませんか」と言う渡邊さんのお言葉に甘えて、



写真① ポスター

ボランティアの皆さん5名とのランチ懇談会(写真③)となりました。「昼食は毎回40食分を用意します。今日は余分があります但し完売の日は私たちのお昼ごはんはおむすびだけなんて日もあります」とのこと。受付のノートに記名、代金を払って食事になりました。今日のメニューは肉じゃが、シシヤモとちくわの揚げ物、ナスとピーマンのみそ炒め、モロヘイヤのお浸し、お漬物、わかめとジャガイモのお味噌汁にご飯そしてお茶、まさに家庭料理です。「味付けも塩加減も身体のことを考えながら作

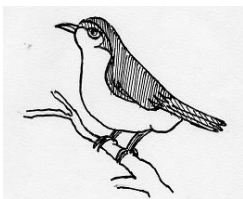


写真③ 火曜日グループの皆さん。
右端が渡邊さん。

ります。メニューも同じものが重ならないように心がけています」と渡邊さん。また、予算内での材料の買い出しのご苦労話の後は「活動のパワ－の源はお客様の『ごちそうさま!』のひとこと。この言葉を頂くとまた頑張ろうと力が湧いてきます」と笑顔に。「大事なことは活動が楽し

く、笑顔でやれること。そうしないと美味しいものは作れませんから。こうやって頑張ってこられたのはチームワークの固い結束の賜です」と話されると全員頷いておられました。最年長80代の方から60代までとエネルギ－に溢れた皆さんでした。光が丘ふれあいセンターでは月1回、火曜日と木曜日を交互に、午前中「元気に歌いませんか」というコーラスの活動が行われており「にぎわい処」に来る高齢者の方にも声をかけて楽しんでもらっているとのこと。歌った後には美味しいランチが待っているというわけです。因みに渡邊さんは協会の会員で事務局におられたこともあることがわかり、最初にお会いした時、どこかでお見かけたことがあるなあという疑問がお話を聞いているうちに解きました。ランチ、ごちそうさまでした。シシャモの揚げたのがとても美味しかったです。

(植野・小林)



このグループ訪問の記事は、「平成27年9月号の『ぼらんていあ通信』に掲載されたものを転載したものです。内容について一部古いものがあるかもしれませんが、記事作成当時の内容ですので、ご容赦ください。

ボランティアグループ にぎわい処
一般社団法人 光が丘ふれあいセンター内
〒252-0277
相模原市中央区光が丘2-18-87
電話 042-810-0596

人物シリーズ49

今回は

社会福祉法人

アトリエ理事長

磯部伸之さん^{いそべのぶゆき}

をご紹介します。



中央区相生四丁目の住宅街にあるアトリエの本部でお話を伺いました。
事業所の開設はいつですか
法人の認可は二〇一三年の十月です。

空き家を購入し、デザイナーでもある職員が建築学科や美術大学の学生などと一緒に四ヶ月かけて改修を進め、二〇一五年の四月から障害福祉サービス多機能型事業所としてオルタレゴ (alterego) の活動を開始しました。

現在の様子はどうか

当初は三名の契約でスタートしましたが、現在では身体、知的、精神に障害のある方十七名に契約していたでいています。

二〇一八年四月には名称を「一から百まで堂」に変え、介護保険のサービスで高齢の方もお越し頂けるようになりました。障害福祉サービスでは生活介護と就労継続支援B型の指定を、介護保険では地域密着型通所介護の指定を受けています。

今年の重点目標は

これまで出張所として位置づけていた西門第三図工室を一施設として独立させることにしました。管理者になるデザイナーの職員のスキルを最大限に生かすための組織的編成が一番の理由です。

大切にしていることは

アトリエは、人々が喜びに満ちた状態にあることが福祉の真の目的、支援とはする側もされる側も互いに支えあうことなどの新しい価値観を福祉に生み出したい、との希望を出発点にしています。
ひとり一人を型にはめることなく、個々の希望、個性、自主性を生かせる活動を生み出せるように取り組んでいて、日々素朴に過ごせる活動を大切にしています。

自分たちの身の回りのことや昼食づくりなどは皆で協力しながら取り組んでいます。また、便利な世の中で不便の楽しさを伝える「不便利屋」は、介護等のサービスを受けている障害のある方ご高齢の方が主役になり、地域の方々にワクワク感を届ける活動です。この活動を更に広げたいと思っています。

ご出身は

目黒区で生まれ、六歳まで世田谷で過ごし、その後、相模原に来ました。子どもの頃は、たくさんの生き物に囲まれて命に向きあう生活にあこがれていました。ジャングル大帝のレオの影響なのでしょうか

ご家族は

妻と、中学生の男の子二人の四大家族です。

好きなことは

少年の頃、野山、小川で生き物を捕まえるのが大好きでした。大人になった今でも、身近な空や草木や生き物に目を向けて、わくわくする事が好きです。最近では、春先に庭でアマガエルを見つけたこと、ギンヤマの羽化を見られたこと、絶えたところにおもったエビネが花をつけていたことが印象に残っています。



最後に、今後の目標、夢を

利用者さんが支援される場所でありながら、一般の人々がお金を払ってでも訪れて、利用者さんに会いに来たくなる体験ができるような場所、そこに行くと「日常の煩わしさや生きにくさを忘れ、気楽になる感覚を得られる」場所を作りたいですね。皆さん気軽に遊びに来てください。

・・・・・

自身の役割を「何でも屋」と自称する磯部さん。母親の影響で知的障害のある友人がいたことがこの世界に入るきっかけになったそうです。

新しい事業所の開設準備や新型コロナウイルス蔓延防止対策などで多忙な中、時間を割いて取材に応じていただきました。

(聞き手 渡邊亮)

草

八木幹夫

草あそび寝ころぶ先のきりぎりす

ものを食べる時には
しつかりと
よく噛みなさい

噛んでいるうちに
おまへの
顔も
足も
すつかり
草色になるようにね
そうすれば
だれにも見つからず
静かなくらしができるのよ

こどものキリギリスが
顔をあげると
すずしい風が吹いてきた

(かあさんがいない)

かあさんは
ぼくより
じょうずに食べたんだ

原っぱには
オヒシバ
メヒシバ
ペンペングサ

夕陽をともしエノコログサ

限りなく草色になれきりぎりす

詩集『めにはさやかに』より

【八木幹夫略歴】
詩人。現在産経新聞「朝の詩」選者
最新詩集「郵便局まで」(ミッドナ
イト・プレス刊)

【出典】
詩集『めにはさやかに』
著者 八木幹夫
発行 1998年7月7日
発行者 鈴木一民
発行所 書肆山田

「イヌ」 + 「ネコ」 でペット 「イヌ」

前に向けた両手を頭の上に移動し、両手で犬の耳を表現。両手を小さく1,2回振る。



ペットを飼っていますか？

今回も、手話の基本的な会話を覚えていきましょう。

基本的な単語を覚えることで、簡単な会話を楽しむことができます。

「あなた」

相手に質問するように、相手の人を指さす。



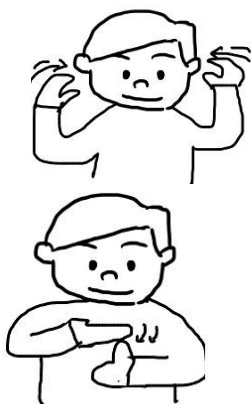
「飼う」

左手の親指を立てて他の指は握り、胸の前に置く。右手のひらを上にし、指先を左手の親指に軽く何回か当てる。



「ネコ」

猫が顔を洗うように、右手を少し丸め、右頬のあたりをなでるようにする。



先ほどの
「イヌ」 + 「飼う」
で表現します。

→イヌを飼っています。

「ネコ」

猫が顔を洗うように、右手を少し丸め、右頬のあたりをなでるようにする。



→うちは猫です。

「私」

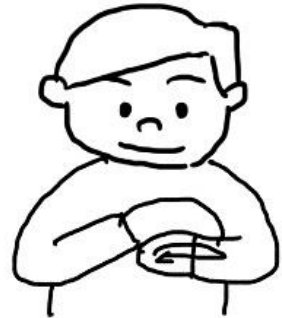
右手の人差し指で、軽く自分を指さす。



→かわいいですよ。

「かわいい」

左手のこぶしを右手のひらで撫でま



わす。

「入る」

両手の人差し指同士「入」という字を作り、手首を回しながら前に倒す。



「会社」

両手の人差し指と中指を立て、頭の横で交互に前後させる。



就職祝いをやりましょ

単語の組み合わせで
会話を作ります。何
となく、わかりまし
たか？

「やる」

胸の下で握った両方のこぶしをグ
ッと前に出す。



「祝福」

両手とも指をすぼめて胸の前に置
き、指をパッと広げながら肩のあた
りまで上げる。



パズルにチャレンジ 解答編

前回の問題はフィギアスケートの用語でした。
聞いたことはあるけどどういう意味でしょう。

①か	②い	て	ん	③ふ	そ	く	④べ	⑤あ
	な			り			⑥ん	い
	ば		⑦え	っ	じ		⑧く	ろ
	う			ぶ				だ
⑨く	あ	ど			⑩ん	ぐ	⑪す	ぴ
	ー		⑫あ				て	す
⑬し			く		⑭ふ	る	っ	つ
⑮よ	ん		せ				ぶ	⑯り
ー			る		⑰ふ		あ	ふ
⑱と	う			⑲さ	る	こ	う	と

タテのかぎ

- ② 荒川静香さんといえばこれが有名
- ③ ジャンプのひとつ。
- ⑤ 2人で滑る競技のひとつ
- ⑥ リ○○。滑る場所のことをいう。
- ⑪ ○○○○○○ト。ジャンプの着氷での乱れ
- ⑫ 前向き踏み切りで跳ぶジャンプ。
- ⑬ フリーの前に行われる種目のこと
- ⑯ ペアとアイスダンスの必須要素
- ⑰ カッ○○。アイスダンスで組む男女をいう。

ヨコのかぎ

- ① 十分回転しないで着地するジャンプ
- ④ 2人でスケートをする
- ⑦ ブレードが氷に直接接する部分
- ⑧ ○○○オーバー。足を交差させて踏み出す。
- ⑨ 4回転ジャンプのこと
- ⑩ フライ○○○○○。一度飛び上がってする。
- ⑭ 軸足がインサイドエッジのまま踏み切るジャンプ
- ⑮ ○○大陸フィギアスケート選手権
- ⑱ ブレード先端のギザギザ部分
- ⑲ スエーデンのウルリッヒにちなむジャンプ

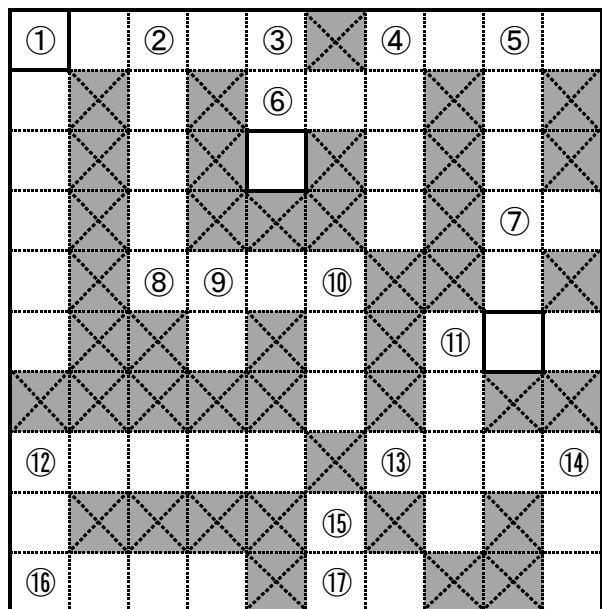
濁音、半濁音はどちらでも、なしでもありでも読めるということ。

□の4文字を集めましょう。
ジャンプで踏み切る足を指します。
こたえは じくあし です。



パズルにチャレンジ 問題編

今回の問題は日本の動物園の名前です。
たくさんの動物園がありますよ！



ヨコのかぎ

- ① 北海道の真ん中の有名な動物園
- ④ 横浜市旭区の〇〇〇〇〇ア
- ⑥ 〇〇〇動物園。若葉区にありレッサーパンダが有
- ⑦ 海〇〇かみち海浜公園は福岡県
- ⑧ 札幌の有名動物園
- ⑪ き〇〇〇んリス村おもしろいよ！
- ⑫ 石川県加賀市、月〇〇〇〇〇と。
- ⑬ ズバリ！ 京都市〇〇〇〇園
- ⑬ 日ノ出町駅から近いよ。〇〇〇〇動物園
- ⑬ 井の〇〇ら自然文化園

タテのかぎ

- ① パンダが超有名な動物園。
- ② 名古屋市で有名な動物園
- ③ 〇〇〇リス園。小粒でも大人気！
- ④ い〇〇〇〇テン動物公園
- ⑤ 淡路島ファームパークイング……。
- ⑨ 伊豆アニマ〇〇ングダム
- ⑩ ひつじなど牧場が楽しい。〇〇〇牧場
- ⑪ 大阪のて〇〇〇〇動物園
- ⑫ シャンシャンがかわいい！
- ⑭ 大阪府池田市のさ〇〇〇ま動物園
- ⑮ 〇〇農業公園ブルーメの丘

濁音、半濁音はどちらでも、なしでもありでも読めるということで。

□の3文字を集めましょう。

□ □ □ ワ バ ナ ナ ワ ニ 園



私が選んだハイキングコース ～橋本駅から田端環状積石遺構へ～

最近読んだタウン紙の記事に「都内で唯一見学可能なストーンサークル」として「田端環状積石遺構」のことが紹介されていました。何のこと？と思いながら記事を探見すると、何々？ 旧石器時代の遺跡だそうで、町田にあるのだという。地図で調べてみると、橋本駅からほどよい距離にありそうです。早速行ってみました。

①橋本駅北口を出発地点としました。駅から見て右斜め方向に、ミウイ橋本の北側の道を進みます。シダックスの交差点を渡り、そのまま進みますと、宮上小学校入口という信号になります。

②宮上小学校入口の信号では左に行くと消防署があり、その先は橋本の16号バイパス方面になります。この信号をそのまま北に向かって直進すると住宅街の道になります。

③しばらく行くと、左側に宮上小学校があり、すぐその先で境川に突き当たります。右に折れて川沿いに進みます。このあたりの境川は両岸が自然のままに草木が茂り、里を流れるふるさとの川といった趣があります。(駅から1640歩)

④川沿いには側道もあり、狭いながら整備された川の土手道を東方向に歩きます。右側に鶏舎もあるような静かな道です。小山橋の次の高砂橋の所で左折して境川を渡り進むと、町田街道に出ます。町田街道を右折してひたすら歩きます。

⑤町田街道を500mほど進むと、田端という信号があります。ここで横断して、町田街道と別れて、「こじま内科・しんわ薬局」の大きな看板の左側の道を斜め方向に進みます。住宅街の中の細い道を進んで行くと、多摩ニュータウン通りという大通りにでます。ここで左折すると、目的地はすぐそこです。(3420歩)

⑥多摩ニュータウン通りをちょっと行くと、左に入った所に立派な石柱が立っていて、ここが目的地であることを教えてください。現場には遺構の説明パネルが整備されています。遺構のさらに先には「小山白山公園」があり、ここなら広々として緑豊かで日陰もあり、休むのにもいいかもしれません。この公園の向かい側が京王相模原線多摩境駅となります。

(史跡まで全2.1km、40分程度)

都史跡町田市田端環状積石遺構の石柱



(西本 敬)

橋本駅から田端環状積石遺構へ



②宮上小学校入口信号



④境川沿いの道



①JR横浜線橋本駅北口



③境川



⑥田端環狀積石遺構

相模原の史跡 惣吉稲荷神社

このページでは相模原の史跡を紹介します。

1976年に相模原市史跡に指定されたという「惣吉稲荷」、名前に興味をもって訪問した。

神社は上鶴間本町にある。

バスは相模大野駅南口を出て、国道16号中和田から鶴園小学校前停留所が最も近い。

この神社の場所には元々無量山西光寺という浄土宗の寺があった。惣吉稲荷の由来については次のような伝承がある。

300石を与えられた地頭、大岡吉重郎義成の下男に惣吉というものがあつたが、忠実によく主人に仕えた。1599年に義成は42歳で没したが、没後には西光寺の寺男としてその墓を守り、一生を終わつた。後に西光寺は廃寺となつたが、惣吉の忠誠善行と篤い信



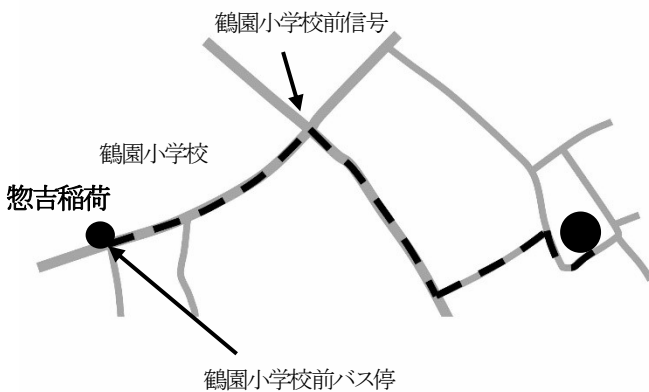
惣吉稲荷

えると
のこと
である。

仰心をたたえ敬慕した人たちが、末社の稲荷を残し「惣吉稲荷」と命名したという。

掲題には義成夫妻の墓碑がある。これは二代目の作左衛門義重が建てたものである。また、同社には延文四年の板碑が2枚所蔵されている。高さ1.5m、幅35cmのものである。現在の社殿は1961年に建てられたものである。

例祭日は2月の初午で、早朝から講中の人達が集まり、わらつとに赤飯をつめて、その上に油揚げやいわしの干物を載せたものを供



義成夫妻の墓碑

バス路線の相模大野駅南口～鶴園小学校間は13系統。1時間に2～3本運行されており、15分程度で到着する。

※座間美都治著 相模原の史跡及び上鶴間公民館ホームページを参考にしました。

あなたもハンディキャップボランティア号に 乗ってみませんか

～協会PRのページ～

協会では運転や介助のボランティアをやっていただける方を募集しています。また、ボランティアをやってみようという方のために1日体験の機会をもうけています。地域社会へのデビューのチャンスです。どうぞチャレンジしてみてください。



車の運転ならま
かしといて下さ
いよ！

ご自分の車で活動に参加できる方式(セダン方式)も採用しています。
この機会にどうぞご参加ください。

ご存知ですか？「傾聴ボランティア」

元気だった頃は、友達に会い、会合にも出ていたけど、最近はほとんど人に会うことがなくなってしまった。そのような方がお近くにいませんか？ 傾聴ボランティアがお役に立つかも知れません。お話ししたいことを聴いてくれるボランティアです。お宅に2名で訪問して、1時間、ゆったりとした楽しい時間をともにします。

連絡先

〒252-0236 相模原市中央区富士見 6-1-20
市立あじさい会館2階中央ボランティアセンター内
電話/FAX 042(759)7982 (相模原ボランティア協会)

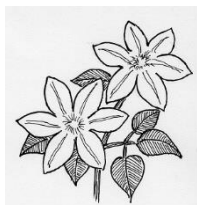
編集後記

☆前回の発行から半年以上も経ってしまいました。100年前のスペイン風邪以来の新型コロナウイルスの大流行。ウイズコロナを実践しなくてはなりません。(西)

☆九月に入ったのに今だにコロナは収束されません。一日も早く元気に皆さんとお会いたいですね。(和)

☆房子の愛をしみじみ感じる
今日この頃です。(髭)

☆本来なら四月に発行予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で、なんと五か月遅れです。今後の生活はどうなるのでしょうか。(倉)



さがみはら ぼらんていあ情報誌 季刊

わくわく 2020 秋号 (第 49 号)

2020 年 9 月 19 日発行

編集人 小倉 義男
西本 敬
髭野 克己
山本 和子
高橋 功
勝部 幸三

イラスト 鹿野 徹子

編集・発行・印刷；

特定非営利活動法人 相模原ボランティア協会

広報委員会内 **わくわく** 編集部会

本誌に使用している用紙（表紙を除く）はイオングループから提供されたものです。

表紙の絵

障害者地域活動支援センター「ウッディショップきこり」の横山充希さんの作品です。カラフルさにどっきりですね。「きこり」は木工作業を中心に木のハガキ（動物や花）を制作しています。

また、毎年メンバーの絵をカレンダーにして好評を博しています。



さがみはら ぼらんていあ情報誌 **わくわく** 2020年秋号（第49号 9月19日発行）
発行：特定非営利活動法人 相模原ボランティア協会 広報委員会わくわく部会
〒252-0236 相模原市中央区富士見6-1-20 あじさい会館中央ボランティアセンター内
☎042-759-7982 URL <http://sagamiva.info/> e-mail: sagamiva@feelocn.ne.jp